

各位

平成24年5月10日

近畿日本ツーリスト株式会社
ブランド戦略室 広報 担当：立花
TEL：03-6891-6824

旅行取扱状況の概観（平成24年3月分）

3月の総取扱額は、平成23年が東日本大震災の影響を大きく受けたこともあり、前年比134.3%と、前年を大きく上回る結果であった。海外旅行の取り扱いは、一般団体・学生団体とも前年を大きく上回ったことにより、団体旅行合計で前年比143.5%と前年を大幅に上回った。企画旅行は取扱人数・取扱額とも前年を大きく上回った。個人旅行は前年比123.2%であった。この結果、海外旅行総取扱額合計としては、前年比121.6%と前年を大きく上回る結果となった。

国内旅行の取り扱いは、一般団体は引き続き堅調に推移し、学生団体も修学旅行以外の需要の取込みにより前年を大きく上回った。これにより団体旅行合計では前年比127.7%と前年を大幅に上回った。企画旅行についても、取扱人数・取扱額とも前年を大きく上回った。個人旅行は前年比160.7%であった。

この結果、国内旅行総取扱額合計としては、前年比145.4%と前年を大きく上回る結果となった。

外国人旅行は、原発事故の影響は継続しているものの前年比195.5%となり、前年からほぼ倍増する結果となった。

1. 海外旅行

(1) 団体旅行

一般団体は、前年比153.4%と前年を大幅に上回り、学生団体も前年比130.7%と前年を大きく上回った。その結果、海外団体旅行としては前年比143.5%と前年を大幅に上回った。

(2) 企画旅行

ホリデイは、取扱人数は前年比117.9%で、取扱額は前年比109.0%であった。方面別状況を見ると、ハワイ・アジア・台湾は首都圏発着を中心に好調に推移した。ミクロネシアは取扱人数で141%と前年を大幅に上回った。ヨーロッパ、オセアニア等の長距離は引き続き伸び悩んだ。

2. 国内旅行

(1) 団体旅行

一般団体は前年比119.2%であった。学生団体は部活動などの修学旅行以外の団体を中心として前年比142.3%と前年を大幅に上回った。その結果、国内団体旅行として前年比127.7%と前年を大きく上回った。

(2) 企画旅行

メイトは、取扱人数で前年比136.8%、取扱額は前年比150.3%であった。方面別の状況では、首都圏・東北・中国四国・九州向けの商品は、取扱人数で前年を大きく上回った。一方で、北海道向けの商品が前年を下回った。

※ 月次取扱額は、KNTとKNT北海道、KNT九州、KNT東北、KNT中国四国、KNT商事、KNTアジアの合算額となります。

以上